

平成25年度事務事業評価調書

整理番号	23	枝番	9
評価担当課	都市整備課 土木係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	名寄演習場周辺障害防止対策事業			
総合計画の位置づけ	有 無	基本目標	3	自然と環境にやさしく快適で安全なまちづくり
		主要施策	12	道路の整備
		基本事業	3	生活道路の整備
		実施計画事業	4	市道排水整備

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	融雪期や降雨時における浸水を解消する。			
対象(何を又は誰を)	市民			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	要望のあった個所を調査し、緊急度により計画的に縦断管・側溝等で整備する。			
意図(どのような成果を期待しているか)	市道に縦断管・側溝等を設置し浸水被害を解消する。			
事業実施主体	名寄市			
事業実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等 <input checked="" type="checkbox"/> 請負 その他()
事業実施期間	始期	H19 年度	終期設定	<input checked="" type="checkbox"/> (終期 H27 年度) ・ 無
根拠法令・条例等				

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H22	H23	H24	H25見込	目標年度 (H27年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1 実施設計	m	目標	—	820	—	—	820
			実績	—	820	—	—	—
	2 整備計画延長 整備済延長	m	目標	—	—	296	512	913
			実績	—	—	296	—	—
成果指標	1 目標率 達成率	%	目標	—	100	100	100	100
			実績	—	100	100	—	—
	2		目標					
			実績					

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H22決算	H23決算	H24決算	H25予算	平成24年度の事業費内訳
事業費	0	11,923	6,438	74,113	名寄演習場周辺障害防止対策事業 C=26,040千円 L=296.09m (周辺排水路工事)
国道支出金	0	10,017	4,845	63,290	
地方債	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	
一般財源	0	1,906	1,593	10,823	
人件費	0	2,673	1,989	1,989	
平均給与額	6,608	6,683	6,629	6,629	
担当職員数	0.00	0.40	0.30	0.30	
総事業費	0	14,596	8,427	76,102	
対前年比(%)	—	—	58	903	コストの算出方法
事業コスト	活動指標1	—	18	28	総事業費(千円)÷整備延長(m)
	活動指標2				
	活動指標3				

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 有 () 無

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性		
市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	本事業は、総計実施計画搭載事業である。安全安心な市民生活を送るうえで、降雨や融雪水に対する不安感や災害を解消するためには必要な事業である。
有効性		
目的を達成するための方法として有効か？	a	インフラ整備について不可欠な事業である。国庫補助対象の事業として整備しているため有効である。
効率性		
経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	財源が国庫補助対象となるので効率的な財政計画が図られる。
公平性		
受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	a	公共性のある事業なので、受益者負担の対象とはならない。
達成度		
活動指標、成果指標の達成度は？	a	活動指標、成果指標とも達成している。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	災害防止、市民要望のためにも事業を進めていきます。	
A:現状のまま継続		
B:進め方を改善	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	
C:規模・内容を見直し		
D:抜本的な見直し(廃止・縮小)		

6 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり。

7 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	災害を抑制するため、事業の継続が必要。